

令和7年3月12日

学生団体が「ミラ・クル・とっとり運動・SDGs活動表彰」 受賞について学長へ報告！

本学の学生団体2チームが令和7年2月9日（日）に開催された「ミラ・クル・とっとり運動・SDGs活動表彰」において受賞し、表彰されました。

両団体とも地域での実践的な活動が認められ今回の受賞に至りました。つきましては下記のとおり中島学長に報告するものです。

本表彰は昨年度まで「令和新時代創造県民運動活動表彰」として開催。この表彰は、県内における福祉活動、子育て支援、環境保全、安心・安全な地域づくり、地域交流、伝統・文化の保存、スポーツ活動、まちづくり、観光振興、農山漁村振興など、さまざまな分野で地域の活力向上に貢献している団体や個人を対象とし、SDGsの視点に基づく地域づくり活動や、SDGs推進による地域貢献の優良事例を表彰するもの。

大学生部門最優秀賞	地産知承（代表者：地域学部地域学科3年 佐々木 里桜）
// 優秀賞	マルビバ（代表者：地域学部地域学科1年 小谷 峻一）

【学長報告会概要】

- 日 時 令和7年3月19日（水）15時00分～16時00分
- 場 所 鳥取大学事務局棟2階 特別会議室
- 参加者 上記代表学生及びチームメンバー
鳥取県地域社会振興部県民参画協働課長 足立 多恵子 氏
中島廣光学長、藪田千登世地域連携担当理事・副学長ほか

本学では学生の成長と地域社会の発展に貢献することを目的として、学生の地域貢献活動を積極的に支援しており、今回受賞した学生団体もその一環として活動しています。

今回受賞した学生の様子を取材・報道いただきたく、よろしくお願いたします。

【本件に関する問い合わせ先】

鳥取大学地域価値創造研究教育機構 森田
電話 0857-31-6777
Mail s-morita@tottori-u.ac.jp

◆ 2月9日に行われた表彰式の様子



◆ 「地産知承」チームの活動

鳥取県の指定保護文化財である藩倉を再生・活用し、湯梨浜町橋津の歴史と文化を未来へと継承するとともに、世代を超えた交流の場として新たな賑わいを生み出す「藩倉活用プロジェクト」に取り組む。



◆ 「マルビバ」チームの活動

イベントを通じて、子どもたちにワクワクする非日常の学びや遊びの場を提供することを目指し、積極的に活動している。

また、学生自身がイベントを企画・運営し、地域の方と交流することで、貴重な社会経験を積むとともに、地域への関心や愛着を深めるきっかけにもなっている。

